## 野生鳥獣保護管理推進事業(ニホンジカ、イノシシ等の捕獲推進事業)について 【背景】

(シカ) ・個体数が増えすぎたことにより、生熊系や農林水産業、生活環境に被害が生じており、適正な生息密度まで個体数を減少させる必要がある。

(イノシシ)・中山間地域を中心に農業被害が深刻化、分布域拡大により高山植物への食害や損傷が問題視されており、被害を縮減する必要がある。

## 【予算額】 【具体的な取り組み】 H30予算額 H29予算額 (千円) (千円) 許可捕獲 105,800 個体数調整 105,800 指定鳥獣 12,760 7.450 --<<森林環境稅>> わな捕獲体制 10,000 10,000 指定管理鳥獣捕獲等事業 個体数調整捕獲 被害防止捕獲 2,240 2,550 捕獲技術研修 1,200 事業者育成 1.200 農林水産業等の被害 広域的な個体群管理を目的として実施 ニホンジカの数の調整を (捕獲) 20,000 カワウ対策 20,000 防止を目的に実施 捕獲事業のほか、捕獲実施計画の策定に必要 目的に実施。 152,000 147,000 となる調査の実施が可能。 狩猟 H30 事業費増額 【目標】 ・狩猟鳥獣を対象に ニホンジカ37.500頭 趣味として実施 <ニホンジカ>個体数調整 7,000 イノシシ1.000頭 <イノシシ>指定管理鳥獣 200 合計 指定管理鳥獣 500 有害 合計 9,800 有害 4,000 16,000頭 狩猟 5,000 15,000頭 狩猟 4,500 〈森林環境税〉〉 -地域ぐるみの体制整備を支援 わな捕獲を中心とした捕獲体制整備 H30 地域数拡充 獲体制 10地域→22地域 (講習会開催、わな捕獲の実施、狩猟免許取得など) わな捕獲技術向上研修会 捕獲技術の向上にかかる研修を開催 の整備 (初心者を対象に、くくりわな・箱わなの座学・実技) 島獣捕獲等事業者の認定を受けるために必要な技能及び 鳥獣捕獲等事業者育成事業 知識を有する捕獲従事者の育成 カワ 【背景】 (カワウ)・生息数の増加により、農林水産業等へ被害が生じており、人との共存のため被害を減らす必要がある。 介力 ワウ対策 【目標】 【具体的な取り組み】 カワウ捕獲羽数 〈〈森林環境税〉〉 への支援)(被害対策 2,990羽/5年 カワウ又はカワアイサの ・漁業協同組合等を対象にカワウ等の被害対策を支援 被害対策活動に対する支援 (捕獲及び追い払い、対策会議の開催など)